

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハピネス国際ほみ放課後等児童デイサービス(放課後等デイサービス)				公表日	令和7年2月5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		一階と二階に分けて、十分なスペースを確保しています。又、スペース確保の為、家具の配置の移動も行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		必要に応じて、職員の配慮人数を変更する等を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		子どもが理解しやすいように、写真を貼るなど、安全に配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			更に、こまめな消毒消毒と掃除を行い清潔な環境を保てると思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		子どもがパニック状態になった場合・静かに過ごしたい場合はその都度、必要な場所・スペースを確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		定期的にミーティングを行い、保護者の意向等の情報を共有し、業務改善を図っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		随時、ミーティングを行い、社員間で意見をしています。	場合によりミーティングに参加できなかった職員に対しても、意見交換ができる機会を設けると良いと思います	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		必要に応じて、各関連機関からの結果や意見を参考にし業務改善に努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		可能な限り、都道府県・市町村が主催している研修に参加しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		保護者との必要に応じて、のコミュニケーションを大切にしながら、公平な立場で作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			職員間で共有はしているが、計画に沿った支援が難しい場合には、更に、情報交換を行うと良いと思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントの違いを、事業所内で研修を行うと良いと思います。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		各職員がプログラムを考え最終的にチーム全体で立案を行い、決定しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		子どもの特性に集団行動がどうしても難しい場合は、それに代替できるプログラムを作成すると良いと思います
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	職員同士のチームワークを大切に支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	当日が難しい場合でも、後日支援内容を振り返り共有しています。	特に重要だと思われる気づいた点については、記録を行い業務改善につなげると良いと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	子どもの最善の利益を踏まえた上で、自己決定ができるような支援に努めています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	適宜、各関連機関と連携を図りつつ保護者の意向・子どもの気持ちを重視し支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	随時、行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	各関連機関と連携をとり、スムーズに移行ができるように支援を行っています。	必要に応じて、就学前児童をかかえている保護者とも、情報共有や相互理解を綿密に行うと良いと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	公園・グラウンドを活用し、交流がもてる機会を図っています。	地域の行事等の社会資源を活用すると良いと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	当事業所の責任者が、可能な限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	リズム・ハピネス通信・コミュニケーション活用しながら共通理解がもてるように努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	随時、行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	定期的に説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	随時、行っています。	必要に応じて、当事業所からも助言を行っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10		クリスマス会・ハピネスカフェ等を活用しながら交流がもてる機会を設けています。	更に、たくさんの保護者が参加できるように行事等予定を早めに保護者に、周知できるようにすると良いと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情などは、大切なお意見として真摯に受け止め業務改善につながるよう務めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		定期的に、ハピネス通信でお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10			積極的に地域の行事等に参加し、事業運営内容を理解していただけるようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		緊急時・災害時等に迅速に対応できるように、マニュアル確認や訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時以外にも、随時、確認を行っています。	全職員間にも、しっかりと周知できるよう常日頃のミーティングを活用すると良いと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		定期的に取り組み内容を説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			特に重要な事案の場合は、ヒヤリハットだけではなく、別途詳細に記録を行うと良いと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		保護者に理解をいただいた上で、計画書に記載しています。	身体拘束についての同意書も作成しています。	